

DAIDO UNIVERSITY NEWS

DAIDO CAMPUS

ISSUE
107

2023年
4月発行

特集

新学長就任 ほか





大同大学新学長が就任しました

学校法人大同学園は、神保睦子現学長の任期満了に伴い、2022年12月21日に開催した理事会において、大同大学の新学長に現副学長の渡邊慎一氏を選任しました。

新学長の就任日は2023年4月1日、任期は3年です。

新学長の経歴は以下のとおりです。

氏名 渡邊 慎一(わたなべ しんいち)

満年齢 53歳

最終学歴 名古屋工業大学 大学院工学研究科 社会開発工学専攻 博士後期課程 修了

学位称号 博士(工学) 名古屋工業大学

【職歴】

1991年 4月	大成プレハブ株式会社(現 大成ユーレック株式会社)	入社
1994年 3月	同上 退職	
1999年 4月	名古屋工業大学大学院ベンチャービジネスラボラトリー	講師
2000年 10月	大同工業大学 工学部 建設工学科建築学専攻	講師
2001年 4月	同上 建築学科	講師
2004年 4月	同上 助教授(2007年4月 助教授を准教授とする)	
2009年 4月	校名改称により 大同大学 工学部 建築学科	准教授
2012年 4月	大同大学 建築学科	教授

2023年度入学式を挙行しました

告辭

大同大学に入学された皆さん、大学院に入学された皆さん、委託生として入学された皆さん、入学おめでとうございます。

そして、コロナ禍により、ご出席いただくことはできませんでしたが、今まで入学生を育んでこられたご家族、関係者の皆様に心よりお祝いを申し上げます。

皆さん、ようやくコロナ禍も収束の兆しが見えてきました。入学後の授業は、オンラインも活用しつつ、ほとんどの授業を対面で実施いたします。コロナ禍の3年間、皆さんは人と人が直接会うことをすいぶん制限されてきました。ぜひ、これから大同大学で、友達や先生方と同じ時間と空間を共有して、授業や研究活動、さらに課外活動など学生生活を思い切り楽しんでください。そして、多くの人と交流して、多くの経験を積んでください。

大同大学は2030年までに本学の目指す目標を「DAIDO VISION 2030」としてまとめました。皆さんは、それぞれの学科・専攻の専門的な知識やスキルを修得するのはもちろんですが、その上で、さらに3つの力を身に付けてください。

1つは「自ら課題を見つけて解決する力」、2つ目は「他者と協働するコミュニケーション力」、3つ目は「新たな価値を生み出す創造力」です。これらの力を、学生生活を通して身に付け、将来、ものづくりの現場を引っ張るリーダーになって欲しいと願っています。

「DAIDO VISION 2030」の「合い言葉」は「自分が変わる、未来を変える」です。自分が変わることで、自分の未来を変えてください。自分が変わることで、これからの社会の未来を変えてください。自分を変えることができるのは、自分しかいません。

大学に入学し、大きく環境が変わる今、これまで考えていたけれど実行できなかったことや、大学生になったら挑戦してみようと思っていることなど、ぜひ実行してください。勇気を持って一步を踏み出し、目標を達成できれば、それは大きな自信になります。失敗しても構いません。失敗したら、皆さんは貴重な経験を得ることができます。また、目標に最短で到達する必要はありません。寄り道や回り道をしても構いません。道草をすると色々な発見や気付きがあることでしょう。このような学びを通して、皆さんは成長し、自分のぶれない軸を築くことができるのです。さあ、今日から、新しい一步を踏み出し、自分を変えていきましょう。

皆さんが大同大学で、実りある大学生活をおくることを心から願っています。

私たち教職員と在学生は、皆さんを心から歓迎いたします。
二〇二三年 四月 三日

大同大学長 渡邊 慎一



滝康佑さん、西原大貴さん、船橋幹人さん、山田徹さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

The 74th WORLD FOUNDRY CONGRESSで研究発表を行い、西原大貴さんが受賞しました

2022年10月16日(日)～19日(水)、The 74th WORLD FOUNDRY CONGRESSが大韓民国の釜山で開催されました。大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 前田研究室 2年 滝康佑さん、西原大貴さん、船橋幹人さん、1年 山田徹さんが研究発表を行いました。また、西原さんは 74th WFC Cast the Future Award "Discipulus" [Student]を受賞しました。

74thWFCのHPはこちら

<https://www.74wfc.com/>



発表した研究テーマは下記のとおりです。

◆滝さんの研究テーマ

「Molten Aluminum Alloy Flow through Casting Filter Installed at Sprue」

◆西原さんの研究テーマ

「Shrinkage Cavities in Conical Mold Castings of Aluminum Alloy」

◆船橋さんの研究テーマ

「Effect of Squeeze Condition on Static and Dynamic Properties of Green Sand Test Piece」

◆山田さんの研究テーマ

「Effect of Ladle Tilting Speed on Pouring Behavior in Aluminum Alloy Die Casting」



▲研究発表を行った4人

▲西原さんの受賞の様子



▲西原さんのトロフィーと表彰状

高田晃希さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

2022 日本ダイカスト会議で研究発表を行いました

2022年11月10日(木)～12日(土)、2022日本ダイカスト会議が横浜で開催されました。大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 前田研究室 2年 高田晃希さんが研究発表を行いました。

発表した研究テーマは下記のとおりです。

◆高田さんの研究テーマ

「ダイカストラドル注湯の傾動速度と流動挙動」

2022 日本ダイカスト会議のHPはこちら

<https://www.j-dec.jp/2022/>



▲研究発表を行った高田さん



神谷隆太さん、山田峻人さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

国際学会IC3MT2022で研究論文を発表しました

2022年11月11日(金)～14日(月)、台湾の台北(National Taiwan Normal University (NTNU))で The 4th International Conference on Machining, Materials and Mechanical Technologies (IC3MT2022,Taipei,Taiwan)が開催されました。大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 萩野研究室 1年 神谷隆太さん、山田峻人さんが参加しました。神谷さんは「Study on material deformation and residual stress after face milling」、山田さんは「Relationship between flow field of cutting edge and chip disposal in CFRP drilling」というタイトルで、それぞれ英語で研究発表を行いました。



▲研究論文を発表した
神谷さん、山田さん

附柴崇也さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

第33回内燃機関シンポジウムで研究発表を行いました

大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 井原研究室 2年 附柴崇也さんが、「酸化チタンの熱誘起触媒能を用いたPMの酸化・分解」のタイトルで研究発表を行いました。全国の大学・研究所・企業の内燃機関研究者および開発者が参加するこのシンポジウムは隔年で開催され、今回は東京都墨田区のKFC HALL&Roomsが会場でした。発表後の質疑応答では、多くの研究者から質問があり、今後の実験に関するアドバイスもあり有意義な発表となりました。

シンポジウムの詳細はこちら

<https://www.jsme.or.jp/conference/ICES2022/>



古畠颯真さん(大学院 情報学研究科 情報学専攻)

日本機械学会第35回計算力学講演会で研究発表を行いました

2022年11月16日(水)～18日(金)、日本機械学会第35回計算力学講演会がオンラインで開催され、大学院 情報学研究科 修士課程 情報学専攻 萩野研究室 1年 古畠颯真さんが研究発表を行いました。

全国の大学・研究所・企業等の研究者が参加する中、オーガナイズドセッション「大規模並列・連成解析と関連話題」において、題目「High Performance Python技法を用いた機械学習の高速化の検討」で発表しました。この研究は近年機械学習分野を中心に広く利用されているプログラミング言語Pythonの高性能計算技術に関するものであり、幅広い応用が期待されるものです。

今後一層の活躍が期待されます。

日本機械学会計算力学部門のHPはこちら

<https://www.jsme.or.jp/cmd/>



小沢勇貴さん、千田涼生さん、中澤優太さん、中本裕汰さん、大谷友希さん、平澤樂人さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

第72回塑性加工連合講演会にて研究発表を行いました

2022年11月18日(金)、19日(土)、トークネットホール仙台で第72回塑性加工連合講演会が開催されました。この学会は、2019年に台風の影響による中止があったため、4年ぶりの開催となりました。

大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 2年 小沢勇貴さん、千田涼生さん、中澤優太さん、中本裕汰さん、1年 大谷友希さん、平澤樂人さんが発表を行いました。

発表タイトルは下記の通りです。

◆小沢さん：軟鋼板を用いた十字型穴広げ成形試験による異方性降伏関数の予測精度評価

◆千田さん：ニューラルネットワークを用いた異方性降伏関数のパラメータの同定

◆中澤さん：局所溶体化処理を施したアルミニウム合金板の角筒モデルにおける対向液圧成形

◆中本さん：曲げ成形中の曲刃のたわみとスプリングバック 第2報 —FE解析によるメカニズム検討—

◆大谷さん：機械学習を用いた切り欠け丸棒引張試験片のひずみ速度依存性を考慮した流動応力の同定

◆平澤さん：歯車型治具および試験片接着による引張圧縮試験の結果比較



▲研究発表を行った6人

水野和也さん、安藤大貴さん、大谷友希さん、平澤樂人さん、吉田直生さん、小沢勇貴さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

第32回材料フォーラムTOKAI研究発表を行い、安藤大貴さんが優秀賞を受賞しました

2022年11月7日(月)、日本金属学会、日本鉄鋼協会が主催する第32回材料フォーラムTOKAIがオンラインで開催され、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 高田研究室1年 水野和也さん、薦森研究室1年 安藤大貴さん、大谷友希さん、平澤樂人さん、吉田直生さん、2年 小沢勇貴さんが研究発表を行いました。今回の材料フォーラムTOKAIは昨年同様のオンライン開催であり、東北大学古原忠教授(日本鉄鋼協会会长、東北大学金属材料研究所所長)の特別講演に統いて、東海地区の大学院生および学生の発表が66件ありました。

また、本フォーラムで研究発表した大学院 工学研究科 機械工学専攻 修士課程 薦森研究室1年 安藤大貴さんが優秀賞を受賞しました。

発表テーマは以下の通りです。

◆水野さんの発表テーマ

「Al-Mg-Si合金における等温時効生成物のDSC調査」

◆安藤さんの発表テーマ

「機械学習を援用した逆解析による一般構造用圧延鋼材SS400の応力ひずみ曲線の同定」

◆大谷さんの発表テーマ

「SS400材の切り欠き付丸棒引張試験片を対象とした機械学習によるひずみ速度依存性のある流動応力の同定」

◆平澤さんの発表テーマ

「高張力鋼板におけるバウシンガー効果特性の取得」



▲受賞した安藤さん

◆吉田さんの発表テーマ

「最適化手法を用いた590MPa,980MPa級DP鋼の高ひずみ域までの真応力-塑性ひずみ曲線の取得」

◆小沢さんの発表テーマ

「穴付き十字型試験片を用いた軟鋼板の異方性材料モデル精度評価」

村藤空吾さん(総合情報学科 スポーツ情報コース)

富山県出身のハンドボーラーとしてYouTubeに取り上げられ、有望選手として新聞に取り上げられました

2022年12月29日(木)、男子ハンドボール部所属 3年 村藤空吾さん(情報学部 総合情報学科 スポーツ情報コース)が、YouTubeチャンネル「富山ハンドボールチャンネル」に、富山県出身の有望なハンドボール選手として特集されました。動画内では、2022年11月に開催された全日本インカレでの活躍や今後の抱負についてのインタビューが紹介されています。

動画は下記URLからご覧になれます。

<https://youtu.be/wOW3bzCKNK0>



また、2023年1月25日(水)、中日スポーツにも村藤さんが取り上げされました。村藤さんは学生日本一、将来の日本代表入りを目指す期待の選手として掲載されました。

記事はYahoo!ニュースにも取り上げられています。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/5222a73f0e2baef2e56000db6675676eddfbaa5e>



伊藤勇斗さん、諸熊文子さん(情報デザイン学科)

「FUXION(フュージョン)」の成果発表を行いました

2022年10月29日(土)、名古屋市経済局主催デザインイノベーションワークショップ「FUXION(フュージョン)」の成果発表会が実施されました。

情報学部 情報デザイン学科 2年 伊藤勇斗さん、諸熊文子さんが発表を行いました。3ヶ月間のワークショップに参加し、ものづくり中小企業やプロのデザイナー、他大学の学生と協働しアイデア創出や商品デザインに挑戦。発表会では同学部 同学科 舟橋慶祐准教授が評価コメントーターの一人として参加しました。

FUXION(フュージョン)の公式サイトはこちら

<https://fuxion758.com/>



▲「FUXION(フュージョン)」の成果発表を行った伊藤さん(左)、諸熊さん(右)

釣部拓人さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

日本機械学会 第21回機素潤滑設計部門講演会で研究発表を行いました

2022年12月5日(月)、6日(火)、一般社団法人 日本機械学会が主催する第21回機素潤滑設計部門講演会(MDT2022)がオンラインで開催されました。本講演会で、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 坪井研究室 2年 釣部拓人さんが研究発表を行いました。

研究テーマは以下の通りです。

流体潤滑状態において凸型テクスチャの形状が摺動特性に及ぼす影響に関する数値的研究

Numerical study on the Effect of Convex Texture Shape on Sliding Characteristics under Fluid Lubrication

釣部 拓人(大同大学大学院)、坪井 涼(大同大学)

近藤広起さん、杉田大晟さん、瀬木聖さん、松井洋樹さん
(情報デザイン学科)

「令和4年度デザインパテントコンテスト」で4名が受賞しました

文部科学省・特許庁・日本弁理士会などが主催する「令和4年度デザインパテントコンテスト」で、情報学部 情報デザイン学科 3Dデザイン分野 3年 近藤広起さん、杉田大晟さん、瀬木聖さん、松井洋樹さんが優秀賞を受賞しました。今年度は639件の応募があり、見事31件の入賞者に選ばれました。出品したのは「応用CAD実習A(担当:舟橋慶祐准教授)」の木製スプーン作品です。さらに上位6名にのみ与えられる特別賞の一つ日本弁理士会会長賞を杉田さんの「調味料スプーン」、文部科学省 科学技術・学術政策局長賞を松井さんの「結」が受賞しました。

これで、情報デザイン学科として7年連続の受賞、木製スプーン作品は合計で12作品の受賞となりました。



▲受賞した4人

石川雄大さん(大学院 工学研究科 都市環境デザイン学専攻)
**2022年度日本都市計画学会 中部支部研究発表会
において「優秀講演者賞」を受賞しました**

2022年10月7日(金)に開催された「2022年度(第33回)日本都市計画学会中部支部研究発表会」で大学院 工学研究科 修士課程 都市環境デザイン学専攻 嶋田研究室 石川雄さんが「VRを用いた自転車利用者の通行場所選択に及ぼす要因分析」という題目で研究発表を行い、優秀講演者賞を受賞しました。2023年1月27日(金)には名古屋都市センターで表彰式が執り行われました。本件は日本都市計画学会 中部支部のHPにも取り上げられています。

日本都市計画学会 中部支部のHPはこちら

<http://www.cpij.or.jp/chubu/?p=3084>

(遷移先のWebページで賞状を受け取っている写真は石川さん本人です。)



近江陽向さん(建築学科 かおりデザイン専攻)
**第35回におい・かおり環境学会
ベストプレゼンテーション賞を受賞しました**

2022年8月30日(火)、31日(水)、本学で
公益社団法人におい・かおり環境協会主催、
第35回におい・かおり環境学会が開催され、
工学部 建築学科 かおりデザイン専攻 3年 近江
陽向さんが、ベストプレゼンテーション賞を受賞しま
した。におい・かおり環境学会は、においに関する
国内外の研究者、企業の方などが参加し、様々な
においに関する研究や事例等を発表する場として開催されています。学会
では、一般口頭発表とポスター発表、機器企画展示が行われました。

近江さんはポスター発表部門で「ガスセンサによる生活環境のにおいの
測定に関する研究 第1報におい物質に対する半導体ガスセンサの応答
特性」と題して発表し、今回の受賞に至りました。



▲受賞した近江さん

北川舞さん(大学院 工学研究科 都市環境デザイン学専攻)
室内環境学会学術大会で研究発表を行いました

2022年12月1日(木)、2日(金)、東京都江戸川区総合文化センターで
「2022年室内環境学会学術大会」が開催され、大学院 工学研究科
修士課程 都市環境デザイン学専攻 1年 北川舞さんが研究発表を行
いました。北川さんは「加熱式たばこのにおいの容認性に関する研究—紙
巻きたばことの比較—」と題し、近年、利用者が増加している加熱式たばこの
においの基準値に関する研究について発表しました。

林憧子さん、近江陽向さん(建築学科 かおりデザイン専攻)
人間-生活環境系学会大会で研究発表を行いました

2022年12月3日(土)、4日(日)、兵庫県のイーグレヒメジで「第46回
人間-生活環境系シンポジウム(姫路)」が開催され、工学部 建築学科
かおりデザイン専攻 4年 林憧子さん、3年 近江陽向さんが研究発表を行
いました。3年ぶりの対面形式で開催され、多くの参加者が訪れ、活発な
質疑応答が行われました。

林さんと近江さんは下記のテーマについて学部生でありながらも堂々と
した発表を行いました。

◆林さんの研究テーマ 「被験者室の湿度がにおい評価に及ぼす影響」

◆近江さんの研究テーマ

「生活環境のにおいに対する半導体ガスセンサの応答特性」

加々美薰さん(建築学科 土木・環境専攻)
**湿地保全のラムサール条約
COP14に参加しました**

湿地保全に関するラムサール条約締結国会議(COP14)が2022年
11月にスイスのジュネーブで開催され、これにラムサールネットワーク日本
(ラムネットJ)の派遣メンバーとして、工学部 建築学科 土木・環境専攻
2年 加々美薰さんが参加しました。

大同大学のある名古屋は藤前干潟という貴重なラムサール条約湿地を
持ちCOPとは関わりの深いところです。普段もインカレ団体「命をつなぐ
プロジェクト」での環境保全活動に関わっている加々美さんですが、国際的
な湿地保全の取り組みや若者世代の活動を知る機会として、日本自然
保護連合の「国際体験継承事業」に応募し、メンティーとしてCOPに参加
できることになりました。

ラムネットJのニュースレターにおいて、参加後の加々美さんの報告と
して、多くの刺激を受け吸収できたこと、英語でのコミュニケーションの大切さ
などのほかに、湿地保全のすべての側面で若者世代の参加が課題となっ
ていることが、こうした会議の参加者層にも見受けられるという実態について
述べています。地域的・国際的視点だけでなく世代継承という視点での課題
も感じた経験が、今後の環境活動に活かされることが期待されます。大学
に戻った加々美さんは「若い人に湿地保全・環境保全の
問題と活動を知って参加してほしい」と話しています。

ラムネットJに掲載された加々美さんの報告はこちら

<http://www.ramnet-j.org/2023/01/report/5695.html>



▲メンティーとして参加した加々美さん(右)
(写真提供:ラムサール・ネットワーク日本)



▲各国の参加者との交流の様子
(写真提供:ラムサール・ネットワーク日本)

松井久実さん、村上里緒さん、小林翔さん、杉山裕紀さん
(情報システム学科)

**第5回東海地区音声関連研究室
卒業論文中間発表会にて
優秀発表賞を受賞しました**

2022年12月10日(土)、第5回東海地区音声関連研究室卒業論文
中間発表会において、情報学科 情報システム学科 4年 柚植研究室
松井久実さん、村上里緒さん、宮島研究室 小林翔さん、杉山裕紀さんが
優秀発表賞を受賞しました。

松井さんと村上さんは「オンライン授業における合成音声の聞き取り
やすさに関する研究」、小林さんと杉山さんは「ウインカ音の音響的特徴と
聴覚的印象に関する研究」について発表しました。発表会はオンラインで
開催され(担当:名城大学)、東海地区の大学の卒研生67名が音声情報
処理やその他の関連研究について合同で研究発表を行いました。次回は
中部大学にて開催される予定です。



▲柚植研究室の村上さん(左)、松井さん(右)



▲宮島研究室の小林さん(左)、杉山さん(右)

中島貴光研究室(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

第29回美濃和紙あかりアート展で「あかりアート賞」を受賞しました

2022年10月9日(日)～11月30日(水)に開催された、第29回美濃和紙あかりアート展に、工学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 中島研究室から6作品出展し、そのうちの1作品が「美濃和紙あかりアート賞」を受賞しました。

美濃和紙あかりアート展は、「美濃和紙」と「うだつの上がる町並み」を融合し1994年から開催されているイベントで、1300年の伝統を誇る「美濃和紙」を使用するあかりのオブジェを全国公募し、「うだつの町並み」に展示しています。一次審査を通過した一般部門163作品および小中学生部門作品を開催期間中に町並み展示していました。また、WEB展示も行われていますので、美濃和紙あかりアート展HPをご覧ください。

受賞内容は下記の通りです。

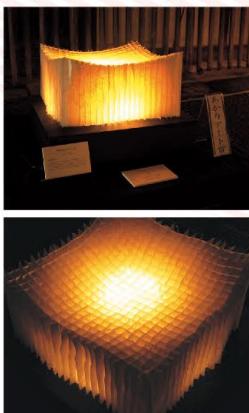
◆「美濃和紙あかりアート賞」

受賞した作品「升組」

工学部 建築学科 建築専攻 中島研究室 4年 布目 尚弘さん、
同学部 同学科 インテリアデザイン専攻 中島研究室 4年 寺田 杏菜さん



▲布目さん(左)、寺田さん(中央)、
中島先生(右)



▲受賞した作品「升組」



美濃和紙あかりアート展

HPはこちら

<https://www.akariart.jp>

情報デザイン学科

情報デザイン学科 3Dデザイン分野の 3年生が「PRP展」で作品を展示了

2022年12月19日(月)～2023年1月13日(金)、本学B棟1階 展示室にて「PRP展」を開催しました。

情報学部 情報デザイン学科 3Dデザイン分野 3年 伊藤朝陽さん、岩橋暁人さん、勝航士さん、加藤優太さん、鎌手葉太さん、川本辰之介さん、佐藤寛起さん、瀬木聖さん、出水日路さん、松井洋樹さんの10名がコアメンバーを務め、同分野の授業で製作した木製スプーンやアクリル製の日用雑貨、家電製品などを展示発表しました。



▲作品展示の様子

建築学科 かおりデザイン専攻

第22回 におい研究交流会を開催しました

2月9日(木)、本学で、研究・社会連携推進センターが主催した第22回におい研究交流会が開催され、企業、他大学等から多数の方が参加しました。

今年度は3年ぶりの対面形式での開催となり、におい・かおり研究センターで学生が取り組んだ研究の紹介や大同かおりコンテスト2022として、「大同町のバラのかおり」をテーマにかおりデザイン専攻の学生が制作した作品の発表などを行いました。

学生たちにとっては、企業等の方々を前にして発表し、様々なご意見や感想をいただいた経験を通して、新たな刺激となりました。

特別講演では、大阪大学産業科学研究所の黒田俊一教授から「ヒト嗅覚受容体セルアレイセンサーが拓くヒト嗅覚DX」と題して、におい測定・対策、香り製作に関わる最新の研究成果について講演されました。



▲学生による研究発表の様子



▲大阪大学 黒田俊一教授による特別講演の様子



▲かおりコンテストの結果発表の様子

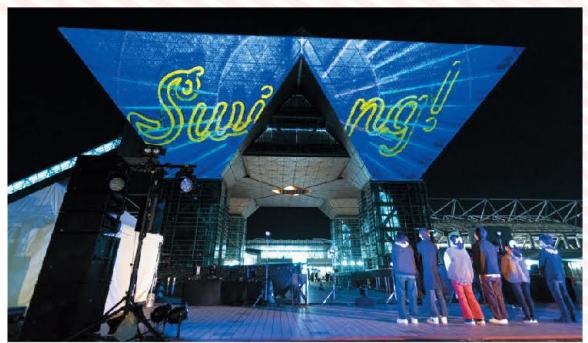
情報デザイン学科

東京国際プロジェクトマッピングアワード Vol.7において優秀賞を受賞しました

2022年11月19日(土)、東京ビックサイトで開催された、東京国際プロジェクトマッピングアワードVol.7で、情報学部 情報デザイン学科 3年 川口莉生さんを中心としたチーム(指導教員:原田昌明講師)の作品「Swing!」が優秀賞を受賞しました。

このチームは、情報デザイン学科 3年 秋田詩織さん、加藤萌愛さん、川口莉生さん、齋藤ひかりさん、柴田唯月さん、瀬木聖さん、東川凌巳さん、保田充輝さん、松井洋樹さん、村瀬大輝さん、森川輝一さん、森本響さん、吉田優那さんが参加しており、CG、グラフィック、プロダクト、実写の専門のゼミで構成されたチームです。

東京ビックサイトでは受賞作品の定期上映も開催されました。



▲上映の様子



▶優秀賞を受賞した
チームのメンバー



優秀賞



公式サイトはこちら
<https://pmaward.jp/award-event-vol7/>



大同グループスラッガーズの
紹介ページはこち
<https://pmaward.jp/award/vol-7/swing/>

堀尾吉巳特任教授(電気電子工学科)

応用物理学会 東海支部 基礎セミナー 「電子線を用いた分析法」で講演しました

2022年10月22日(土)、応用物理学会 東海支部が主催する基礎セミナー「電子線を用いた分析法」で工学部 電気電子工学科 堀尾吉巳特任教授が講演を行いました。

堀尾特任教授は、「表面電子回折(LEED、RHEED)の基礎と応用」について講演しました。このセミナーは対面形式で実施し、参加者は50名を超えるほどでした。

セミナーの詳細についてはこちら

<https://tokai.jsap.or.jp/info/1575.html>



浦井一教授(電気電子工学科)

愛知県立瀬戸西高等学校で 「総合的な探求の時間」の講師を務めました

工学部 電機電子工学科 浦井一教授が、愛知県立瀬戸西高等学校の1年生を対象とした「総合的な探求の時間」で、「再生可能エネルギーの導入拡大を支える電気工学」と題した講義を行いました。

講義では、SDGsの目標である「気候変動対策」「再生可能エネルギーの拡大」の背景と、再生可能エネルギーの導入を拡大するための取り組みとして、高電圧直流送電(HVDC)と、仮想発電所(VPP)を紹介しました。

また、将来の電力システムではフィジカル空間とサイバー空間の融合が進むため、電気電子工学と情報工学を学んだ技術者が活躍できることを伝えました。

瀬戸西高校のHPはこちら

<http://setonishi-h.jp/wp/2022/10/14/6189/>



浦井一教授(電気電子工学科)

高電圧工学に関する国際研究会で 座長を務めました

2022年11月21日(月)、22日(火)、The 13th International Workshop on High Voltage Engineering(高電圧工学に関する国際研究会)が沖縄の那覇とオンラインのハイブリッドで開催され、工学部 電気電子工学科 浦井一教授がCircuit breaker 1 sessionの座長を務めました。

前田安郭教授(機械工学科)

The 74th WORLD FOUNDRY CONGRESSで招待講演を行いました

2022年10月16日(日)～19日(水)、The 74th WORLD FOUNDRY CONGRESSが大韓民国の釜山で開催され、工学部 機械工学科 前田安郭教授が招待講演を行いました。講演タイトル“Technical Trend of Casting CAE and Particle Method”で、著者らの開発した鋳造CAEの機能を中心に最新動向について説明しました。

関連記事はこちら

The 74th WORLD FOUNDRY CONGRESSで研究発表を行いました/前田研究室

https://www.daido-news.jp/du_news/student/3622.html



「74th WFC Cast the Future Award
“Discipulus”[Student]」を受賞しました

/大学院 西原大貴さん

https://www.daido-news.jp/du_news/student/3620.html



杉本幸雄教授(情報デザイン学科)

「映画のあらすじから読み解く ダイバーシティ(多様性)」をテーマに 講演を行いました

2022年10月29日(土)、知多市立中央図書館で、情報学部 情報デザイン学科 杉本幸雄教授が「映画のあらすじから読み解くダイバーシティ(多様性)」をテーマに講演を行いました。講演では、杉本教授が監督を務めたドキュメン



▲講演の様子

タリー映画「四つの空のうちにありがとう」の上映を行い、映画の内容を参考にして、様々な特性を持った人々がお互いに認め合い支え合うために、一人一人が身近にできることを参加者と考えました。

橋口宏衛講師(機械システム工学科)

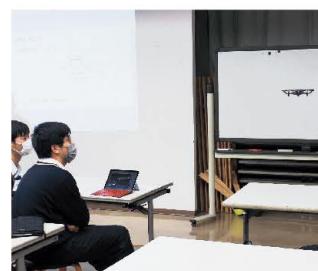
愛知県立東海樟風高等学校の「あいち STEMハイスクール研究指定事業」として、ドローンの講座を行いました

愛知県立東海樟風高等学校の「あいちSTEMハイスクール研究指定事業」として、2022年10月31日(月)、11月10日(木)に本学で、3年生の生徒12名を対象に、工学部 機械システム工学科 橋口宏衛講師がドローンの講座を行いました。

1日目は、本学学生が制作したドローンなどを紹介しながら、ドローンの仕組みや飛ばし方、活用事例などについて講義を行い、2日目は、ドローンを飛ばすためのプログラミング教育を行い、実際にプログラミングを利用してドローンを飛行させました。



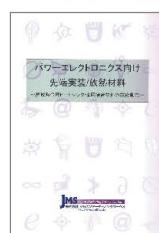
▲1日の講座の様子



▲2日の講座の様子

山田靖教授(電気電子工学科)

ジャパンマーケティングサーベイの セミナで講師を務めました



2022年11月21日(月)、ジャパンマーケティングサーベイの技術セミナ「パワーエレクトロニクス向け先端実装/放熱材料～高放熱金属ヒートシンク/金属接合材料の技術動向～」で工学部 電気電子工学科 山田靖教授が講師を務めました。山田教授が担当したのは、「金属粒子を用いた高耐熱接合材料及び高放熱グラファイト材料」で、パワー半導体の熱問題に対して、耐熱性を高めるための金属ナノ粒子の焼結を用いた接合技術と、放熱性を高めるための高熱伝導グラファイト基板の双方について解説しました。

なお今回は、Zoomを用いたWebセミナで開催されました。

桐山岳寛講師(情報デザイン学科)

大同大学キャリアセンター配布冊子が米国のデザイン賞を受賞しました

情報学部 情報デザイン学科 桐山岳寛講師が大同大学キャリアセンター配布冊子を制作しました。その冊子が米国GDUSA主催のグラフィックデザインコンペティションにて、2022年「American Graphic Design Award」を受賞しました。作品は同団体が発行する年鑑に掲載され全米に配布されることになっています。



桐山岳寛講師(情報デザイン学科)

『図解の教科書』が中国本土にて翻訳刊行されました



▲中国本土にて刊行された簡体字版(左)と台湾で刊行された繁体字版(右)

情報学部 情報デザイン学科
桐山岳寛講師が執筆した『説明がなくても伝わる図解の教科書』(かんき出版)が中国本土にて刊行されました。

2018年に台湾で刊行された繁体字版に続く海外出版となりました。

井原禎貴教授(機械システム工学科)

第60回燃焼シンポジウムのエンジン燃焼セッションで座長を務めました

第60回燃焼シンポジウムが開催され、開催3日目の「エンジン燃焼II」セッションで、工学部 機械システム工学科 井原禎貴教授が座長を務めました。

このシンポジウムは毎年開催され、日本全国の燃焼に関する技術者・研究者が参加します。新型コロナウイルスの影響でオンライン開催が続き、対面での実施は3年ぶりでした。また今回は初めての試みとして、隔年で開催される内燃機関シンポジウムと会場・時期を合わせ同時開催とし、両シンポジウムへの参加が簡単に実現できるようになりました。そのため、とくに本エンジン燃焼セッションでは内燃機関シンポジウムへ参加している研究者も多数聴講していました。活発な議論が交わされたことで座長はタイムマネジメントに苦労する結果になりましたが大いに盛り上がりました。

徳納一成特任教授、萩野将広講師(機械工学科)

日本金属学会誌第87巻(2023年)3月号に徳納特任教授の総説が掲載されました



▲日本金属学会誌 第87巻(2023年)3月号に、工学部 機械工学科 徳納一成特任教授の総説(オーバービュー)が掲載されました。この総説は、長年にわたる徳納特任教授の「面心立方金属の加工硬化機構」に関する欧文論文数編をベースとして纏められ、金属の加工硬化を担う「転位」と呼ばれる結晶欠陥の集合体構造に関する透過型電子顕微鏡を用いた観察結果を、最新の塑性理論を駆使して解説したものです。共著者は、九州大学 光原昌寿准教授と工学部 機械工学科 萩野将広講師です。本研究は、本学共同研究ラボ「生産加工ラボラトリー(代表:萩野将広講師)」の活動の一環として行われました。

なお、総説のタイトルは以下の通りです。

タイトル:

点欠陥集合体を含む面心立方金属の転位チャンネル内初期転位組織

英文タイトル:

Early-Stage Dislocation Structures inside the Dislocation Channels of Face-Centered-Cubic Metals with Point Defect Clusters.

朝倉宏一教授(情報システム学科)

「情報と未来～超スマート社会を拓く情報通信技術～」をテーマに講演を行いました

2022年11月26日(土)、愛西市佐織公民館で、愛西市民大学講座として情報学部 情報システム学科 朝倉宏一教授が「情報と未来～超スマート社会を拓く情報通信技術～」をテーマに講演を行いました。



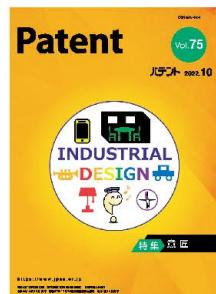
▲講演会の様子

講演では、日本政府が目指す未来社会「Society 5.0」の推進により、超スマート社会の実現に向けて必要な情報通信技術の説明を行い、情報化された社会の未来について参加者と考えました。

舟橋慶祐准教授(情報デザイン学科)

機関誌「パテント」の特集を執筆しました

日本弁理士会が発行する機関誌「パテント vol.75」の特集を情報学部 情報デザイン学科 舟橋慶祐准教授が執筆しました。特集のテーマは「意匠」で、舟橋准教授は日本弁理士会 知的財産センター 副センター長の向林伸啓さんとともに「デザインパテントコンテストを活用したデザイン教育」について論じました。また、誌面では前年の同コンテストで受賞した同学部同学科 3年 勝航士さん、4年 上条太一さん、川田脩斗さん、遠山千聖さんの作品も写真付きで紹介されました。



田中宏昌教授(教養部)

2種類の研究論文がNature Communications誌に掲載され、東京大学・九州大学との共同プレスリリースが行われました

教養部 化学教室 田中宏昌教授の2種類の研究論文が、国際論文誌“Nature Communications”に掲載され、共同研究先である東京大学および九州大学と共同プレスリリースを行いました。

1つ目の内容は、窒素を直接かつ触媒的に、含窒素化合物に変換することに成功したというものです。生物の生命活動維持に必須な、DNAやタンパク質に含まれる含窒素化合物は、窒素ガスをアンモニアにいったん変換したうえで、アンモニアを原料として合成されています。この研究成果は、地球上に豊富に存在する窒素ガスから、アンモニアを経由せずに含窒素化合物を直接合成可能であることを示しています。本研究は、東京大学 西林仁昭教授、九州大学 吉澤一成教授のグループと共同で行われ、田中教授はコンピューター

1つ目の共同研究の詳細はこちら

<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/hubfs/press-release/2022/1025/001/text.pdf>



2つ目の論文の資料はこちら

<https://www.nature.com/articles/s41467-022-34984-1>



1つ目のYahoo!ニュースに掲載された記事はこちら

<https://news.yahoo.co.jp/articles/85f3f7de609a2b32cc667d965ab569091c2c9ba0>



2つ目の

共同研究の詳細はこちら

<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/hubfs/press-release/2022/1202/001/text.pdf>



2つ目の日経新聞の記事はこちら

https://www.nikkei.com/article/DGXZRSP644965_Z21C22A1000000/



2つ目のマイナビニュースの記事はこちら

<https://news.mynavi.jp/techplus/article/20221205-2530220/>



2つ目のOptronicsニュースの記事はこちら

<https://optronics-media.com/news/20221202/79506/>



坪井涼准教授(機械工学科)

第7回WEATHER-Eye オープンフォーラムの司会を務めました

2022年12月6日(火)、第7回WEATHER-Eyeオープンフォーラムがオンラインで開催されました。

本フォーラムで工学部 機械工学科 坪井涼准教授が第II部一般講演にて司会を務めました。

本フォーラムの詳細はこちら

https://www.weather-eye.jp/Open_forum/detail/45



萩野将広講師(機械工学科)

日進市立日進東中学校の「働く人の話を聞く会」にて講話しました

日進市立日進東中学校で行われた「働く人の話を聞く会」にて工学部 機械工学科 萩野将広講師が講話をしました。



▲講演の様子

中学一年生の授業の一環として行われたもので、生徒がいろいろな職業の方からの講話を聴く機会であり、将来の職業や進路について考えるきっかけづくりを行いました。内容は、職場の特色や様子、今の職業に就くきっかけ、働くことの楽しさや大変さ、中学生のうちにやっておくといいこと、進路選択を含む学生時代の経験などを中心に講話しました。

橋口宏衛講師(機械システム工学科)

南警察署から感謝状が贈呈されました

工学部 機械システム工学科 橋口宏衛講師が、警察業務に多大な協力をしたことから、名古屋市南区警察署より感謝状が授与されました。



►感謝状が贈呈された橋口講師

山田靖教授(電気電子工学科)

技術情報協会のセミナで講師を務めました



2月9日(木)、技術情報協会の技術セミナー「パワー半導体用接合材料の開発動向とその信頼性評価」で、工学部 電気電子工学科 山田靖教授が講師を務めました。

山田教授が担当したのは、「パワー半導体実装における接合技術・信頼性と特性評価法」で、自動車の電動化やパワー半導体の説明に引き続き、接合技術に求められる要件、概要について解説しました。そして、Cuナノ粒子接合技術に関して、これまでの研究結果を説明しました。さらに、接合技術の特性評価法についても、最近の研究成果を述べました。

なお今回は、Zoomを用いたWebセミナーで開催されました。

大東憲二教授(総合情報学科 経営情報コース)

大同大学地域環境調査研究センターの取組発表を行いました

2月10日(金)、西三河総合庁舎(岡崎市)で開催された「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業 活動発表・交流会」で、大同大学地域環境調査研究センターで代表を務める情報学部 総合情報学科 経営情報コース 大東憲二教授が、同センターの活動発表を行いました。

発表内容としては、あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業として愛知県から採択され、2022年12月23日(金)、本学で開催した「知多半島生態系ネットワークフォーラム」について、フォーラムのテーマや実施内容を参加者に説明しました。



▲発表する大東教授



▲取組発表の様子

光田恵教授、棚村壽三准教授(建築学科 かおりデザイン専攻) 「覚醒方法および覚醒装置」が特許登録されました。

2018年3月29日(木)に工学部 建築学科 かおりデザイン専攻 光田恵教授、棚村壽三准教授が出願した「覚醒方法および覚醒装置」が、2022年6月30日(木)に特許登録されました。

- 1.特許番号:特許第7097568号
- 2.登録日:2022年6月30日(出願日:2018年3月29日)
- 3.特許タイトル:覚醒方法および覚醒装置
- 4.発明者:光田恵、棚村壽三他

田中宏昌教授(教養部)

研究論文が Inorganic Chemistry 誌に掲載され、京都大学・東京大学・九州大学との共同プレスリリースが行われました

2月3日(金)、教養部 化学教室 田中宏昌教授の研究論文が、国際論文誌 "Inorganic Chemistry" に掲載され、共同研究先である京都大学、東京大学および九州大学と共同プレスリリースを行いました。

内容は、「溶液中のヨウ化サマリウム錯体の構造を、大型放射光施設SPring-8でのX線分析により解明した」ものです。ヨウ化サマリウムは、最近開発された高効率なアンモニア合成法において電子源として利用されていますが、溶液中の錯体構造が未解明で、メカニズム研究の障害となっていました。本研究において、田中教授はコンピューターシミュレーションによる錯体の構造推定を担当しました。

載誌および論文の情報

雑誌名:Inorganic Chemistry

論文タイトル:Coordination Structure of Samarium Diiodide in a Tetrahydrofuran-Water Mixture

著者:Akira Yamamoto, Xueshi Liu, Kazuya Arashiba, Asuka Konomi, Hiromasa Tanaka, Kazunari Yoshizawa, Yoshiaki Nishibayashi, Hisao Yoshida

DOI番号:<https://doi.org/10.1021/acs.inorgchem.2c03752>

中島貴光教授(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

「世界劇場会議名古屋フォーラム2022」の実行委員長を務めました



▲フォーラムの様子



▲中島研究室の発表の様子

2022年11月28日(月)、世界劇場会議名古屋主催のフォーラムが大同大学ゴビーホールで開催され、工学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 中島貴光教授が実行委員長を務めました。本フォーラムは「名古屋市の新しい市民会館を考える」と題し、現在、老朽化による建替え計画が検討されている金山地区の「市民会館」について、提言・提案を行い、議論を深めることをテーマとしています。基調講演+二部制で行われ、後半となる第二部では、愛知県内建築系の大学研究室(日本福祉大学・坂口研究室、名城大学・谷田研究室、名古屋大学・恒川研究室、大同大学・中島研究室)による設計提案が行われ、中島研究室 3年 桑原彩奈さん、丹羽愛依梨さん、部家帆花さんも登壇しました。これからの名古屋の市民会館のあり方について様々な観点より議論を行い、盛況のうちに幕を閉じました。



▲展示された模型

萩野将広講師(機械工学科)

享栄高等学校を対象に模擬授業を実施しました

2月15日(水)、享栄高等学校の機械科2年生を対象に、工学部 機械工学科 萩野将広講師が「超高速現象を見てみよう」をテーマに模擬授業を行いました。授業では、ハイスピードカメラを用いた参加型の実験が行われ、生徒たちが楽しみながら学ぶことのできる内容でした。



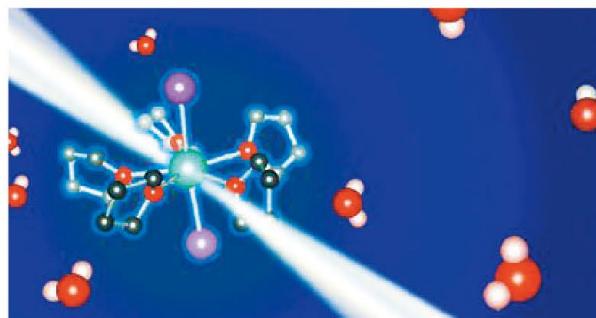
共同研究の詳細はこちら

<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/hubfs/press-release/2023/0203/001/text.pdf>



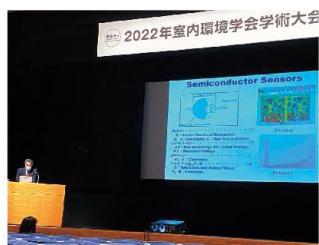
日経新聞の記事はこちら

https://www.nikkei.com/article/DGXZRSP648754_T00C23A2000000/



山口一非常勤講師(建築学科 かおりデザイン専攻) 国際シンポジウムで理事長として 講演をしました

2022年12月1日(木)、2日(金)に行われた、「2022年室内環境学会学術大会」で、国際シンポジウム「Prospects for Indoor Environmental Research in Asian Countries」が開催され、工学部 建築学科 かおりデザイン専攻 山口一非常勤講師が一般社団法人 室内環境学会の理事長として講演しました。



▲講演する山口一非常勤講師

山口一非常勤講師は、「Introduction of some technologies to improve the indoor environment -Monitoring of indoor mites and chemicals-」と題し講演し、室内環境研究の将来展望について議論を行われました。

小島一宏教授(情報デザイン学科)

『第44回ヨコハマ映画祭』の司会を 担当しました!



▲小島一宏教授(左)と吉岡里帆さん(右)

2月5日(日)、横浜の関内ホールで3年ぶりに開催された『第44回ヨコハマ映画祭』の司会を、引き続き情報学部 情報デザイン学科 小島一宏教授が務めました。

「映画ファンのための熱いまつり」と謳う『ヨコハマ映画祭』。その「表彰式」には、前年に公開された日本映画の中から主演男優賞、助演女優賞、最優秀新人賞、監督賞、撮影賞、脚本賞などの“個人賞”に選ばれた俳優や映画スタッフがほぼ勢揃いし、華やかでなごやかなステージが繰り広げられます。俳優やスタッフたちは、しがらみのない、本当に映画を愛するファンたちが純粋に選んでくれる賞として、『ヨコハマ映画祭』での受賞をとても喜んでくれています。小島教授は以前、東海ラジオの邦画専門番組のパーソナリティだった時期に『ヨコハマ映画祭』の取材に何度も出掛けっていました。その縁で、第36回から大役を務めています。

「表彰式」では、受賞者全員にインタビューして受賞の喜びや撮影秘話などを聞き出す重要な役どころを担っています。かなりプレッシャーがかかりますが、毎回やり甲斐を感じながら楽しんでステージに立っているという小島教授。今年は瀬戸康史さんや西野七瀬さん、磯村勇斗さんや吉岡里帆さんらが次々と登壇。中でも最年長受賞記録を更新された「主演女優賞」の倍賞千恵子さんは、小島教授の呼び掛けに応えて受賞作『PLAN75』の劇中歌『林檎の樹の下で』をアカペラで歌い、会場を大いに盛り上げました。コロナ対策などで例年とは勝手が違う「表彰式」でしたが、関内ホールは今年も映画ファンたちの熱気に包まれました。また来年のステージが楽しみです。

男子ハンドボール部

日本選手権への出場権を獲得しました

2022年10月23日(日)、静岡市清水総合運動場体育館で開催された第74回東海選手権大会 兼 第74回日本選手権東海ブロック大会に男子ハンドボールが出場し、見事優勝を果たしました。この結果により、男子ハンドボール部は12月に開催された日本選手権への出場権を獲得しました。

男子ハンドボール部は、1回戦で東海学生リーグのOBを中心に構成されるHC岐阜に勝利すると、決勝では社会人チームの名門HONDAと対戦。強豪チームを29対23のスコアで快勝しての優勝でした。全国大会である日本選手権は、12月に山口県で開催されました。

これからも男子ハンドボール部の活躍にご期待ください。

男子ハンドボール部

全日本インカレで3位入賞し、 新聞に掲載されました

2022年11月3日(木・祝)～7日(月)、愛知県で開催された令和4年度全日本学生ハンドボール選手権大会(インカレ)に男子ハンドボール部が出場し、3位入賞を果たしました。男子ハンドボール部は、初戦の早稲田大学に快勝すると、その後も日本大学、筑波大学に次々と勝利する快進撃を見せ、準決勝へと駒を進めます。

準決勝では昨年度の優勝校である中央大学と対戦。立ち上がりから互角の戦いを繰り広げ、選手たちは試合終盤までチーム一丸となって戦い抜きましたが、惜しくも敗れ3位で大会を終えました。ベスト4進出は2016年、2017年以来の3度目で、過去最高タイの成績となります。悲願の決勝進出を果たすことはできませんでしたが、関東リーグの並みいる強豪を破ってのベスト4進出は非常に価値のある結果といえるでしょう。また個人賞として、ベストセブンに情報学部 総合情報学科 スポーツ情報コース3年 村藤空吾さんが選出されました。

12月7日(水)～11日(日)に開催された第74回日本ハンドボール選手権大会には、愛知県代表として出場しました。11月11日(金)の中日新聞・中日スポーツ朝刊には、男子ハンドボール部が中日新聞社を訪れ、全国大会3位になったことを報告したことが記事として掲載されました。記事内では、佐藤壯一郎監督と選手たちのコメントが掲載されています。

これからも、日本一を目指す男子ハンドボール部の応援をよろしくお願いいたします。

大会結果はこちら

https://www.asahi-net.or.jp/~zb3m-knk/2022intercollege_men_results.htm



第74回日本ハンドボール選手権大会のHPはこちら

https://handball.or.jp/game/nihon_senshuken_m_2022.html



▲神保学長と記念撮影する男子ハンド部員と佐藤監督

武藤大理事長

東海ラジオ「東海ものづくり大学」に出演しました

2022年12月26日(月)、東海ラジオで19:15~19:30放送の「東海ものづくり大学」に武藤大理事長が出演しました。

この番組は、東海地方の様々な分野で活躍し続ける「ものづくり企業」のトップを招いて、これまでにいかにして未来を切り開いてきたかをインター形式で紹介するものです。

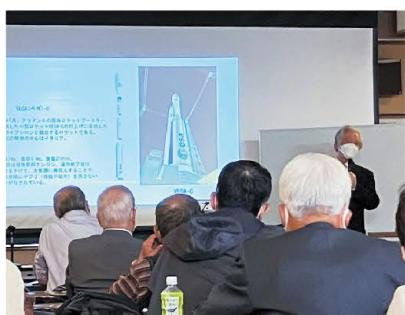
放送された内容は、下記URLから聞くことができます。

<https://tokaimonozukuri.net/2022-12-26/>



澤岡昭名誉学長

南生涯学習センターとの連携講座 「宇宙開発最新情報Ⅲ」がスタートしました



▲連携講座の様子

南生涯学習センターで、全4回の連携講座が2022年11月17日(木)から始まり、澤岡名誉学長が講演しました。

第1回は『米国と欧州の宇宙開発』と題して、宇宙開発の基盤となるロケット開発において、民間企業がその役割を

担いつつあるアメリカと、連合で取り組む欧州について話が展開されました。

連携講座は例年盛況で、今回も参加者多数のため、抽選が行われました。

〈連携講座〉

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 第1回(11月17日) | 『米国と欧州の宇宙開発』 |
| 第2回(11月24日) | 『米国に迫る勢いの中国の宇宙開発』 |
| 第3回(12月1日) | 『最新の日本の宇宙開発』 |
| 第4回(12月8日) | 『はやぶさ2が持ち帰った生命物質から分かること』 |

知多半島生態系ネットワーク フォーラムが開催されました

2022年12月23日(金)、本学の地域環境調査研究センターが主催する知多半島生態系ネットワークフォーラム「知多半島ミライAction Day」が開催されました。第1部では、世界が注目する最新ワード徹底分析(ネイチャーポジティブでカーボンニュートラルな世界を目指して)を、第2部では、知多半島ナウReport(知多半島における生物多様性とネイチャーポジティブの関係性)を、第3部では、知多半島ミライAction(未来を担う若者団体が、取組みや未来に提言発表)を行いました。



卓球部

第54回東海学生卓球各部別大会で好成績を収めました

2022年11月23日(水・祝)に開催された第54回東海学生卓球各部別大会で卓球部が好成績を収めました。

結果は下記の通りです。

◆男子3、4部 シングルス 優勝

工学部 機械工学科 4年 山本倫也さん

◆男子3、4部 ダブルス 3位

工学部 機械システム工学科 3年 山本佳祐さん

情報学部 情報システム学科 1年 川端人慈さん

また、男子3、4部 シングルスで優勝した山本さんは、12月1日(木)から令和4年度 第8回オール西日本大学卓球選手権大会(個人の部)に出席しました。

松島徹さん(2021年度卒業 総合情報学科)

仕事とハンドボールの両立についての インタビュー動画に出演

2022年12月28日(水)、塩谷建設株式会社のYouTubeチャンネルにて、卒業生の松島徹さん(2021年度 総合情報学科 卒業)のインタビュー動画が公開されました。松島さんは在学時には男子ハンドボール部の主将として活躍しました。現在は塩谷建設の営業マンとして勤務する傍ら、富山県のハンドボールチーム「富山ドリームズ」の選手としても活動しています。

動画では、松島さんが仕事とスポーツ選手の両立について語っています。

ぜひ、下記リンクよりご覧ください。

https://youtu.be/Dr2o_laeB40



大同大学・大同大学大学院奨励賞が授与されました

1月26日(木)、大同大学・大同大学大学院奨励賞 授与式が行われました。奨励賞は研究活動において、特に顕著な業績をおさめた人が対象となります。今回は、工学部 建築学科 建築専攻 4年 布目尚弘さん、同学部 同学科 インテリアデザイン専攻 4年 寺田杏菜さん、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 2年 西原大貴さんに奨励賞が授与されました。

布目さんと寺田さんは全国規模のコンペである「美濃和紙あかりアート展」で「美濃和紙アート賞」を受賞したことにより選出されました。

西原さんは、2022年5月に開催された日本鋳造工学会が主催する



▲授与式の様子

第179回全国講演大会で「令和4年度 公益社団法人日本鋳造工学会 学生優秀講演賞」を、10月に開催された国際会議「The 74th WORLD FOUNDRY CONGRESS」で「74th WFC Cast the Future Award "Discipulus" [Student]」を受賞したことにより選出されました。

指導する中学生が令和4年度 愛知県中学生ハンドボール大会で3位入賞しました

2022年12月10日(土)～2023年1月15日(日)に開催された「令和4年度愛知県中学生ハンドボール大会」に、事務職員の八田忠さん(入試・広報室)が監督を務める「大同ハンドボールアカデミー」が出場し、3位入賞しました。この大会は、春の全国大会の出場権を争うもの。大同ハンドボールアカデミーは名古屋市予選を突破し、創部3年目にして初出場となりました。チーム関係者、学園教職員が応援に駆け付ける中、選手たちは緒戦を危なげなく勝ち抜き、ベスト4に進出します。準決勝では優勝チームに惜しくも敗れましたが、3位同士の最終戦では昨年度優勝チームとの接戦を制して3位入賞となりました。

大同ハンドボールアカデミーは、地域の子どもたちがハンドボールを通じて成長できるよう、今後も活動を続けていきます。

ホームページはこちら

<https://www.daidokids-academy.com/>



チーム活動ブログはこちら

[アカデミー]新人戦県大会(愛知県チャンピオン大会)3位入賞

https://daidokids-academy.blogspot.com/2023/01/blog-post_18.html



▲大同ハンドボールアカデミーのみなさん

第3回自動販売機オリジナルラッピング デザインが決定しました!

2022年4月～11月の期間で学内の自動販売機オリジナルラッピングデザイン案を募集したところ、97人がエントリー、全110作品の個性的な応募作品が集まりました。その中から、17作品が採用されました!

新しい自動販売機は、2023年3月下旬から学内17箇所に設置されています。大同大学らしさ・学内に映える個性的なデザインで、多くの人に親しみをもってもらえるようなものとなっています。



▲採択された作品の1つ

加藤真史さん(2006年度卒業 電子情報工学科)

第82回中日農業賞で中日賞を受賞し、 中日新聞に掲載されました

2月22日(水)に中日新聞社が主催する「第82回中日農業賞」が発表され工学部 電子情報工学科(現:工学部 電気電子工学科) 2006年度卒業生 加藤真史さんが「中日賞」を受賞しました。

加藤さんの今回の受賞に至るまでの経緯が中日新聞に掲載されました。



▲2月22日(水)付 中日新聞

木村順さん(2006年度卒業 情報学科)

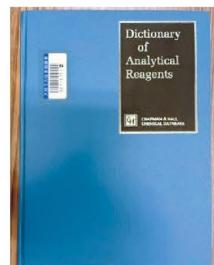
図書館ホームページを 制作しました

本学の図書館ホームページを情報学部 情報学科(現:情報学部 情報システム学科) 2006年度卒業生 木村順さんが制作しました。図書館のホームページが見やすく、使いやすくなり、スマートフォンからでも快適に使えるようになりました。



大下一政名誉教授

Dictionary of Analytical Reagentsに掲載されました



世界的に権威がある分析試薬辞典「Dictionary of Analytical Reagents」に、大下一政本学名誉教授が大同大学(大同工業大学)で合成した22種類の合成分子が掲載されています。これらの合成分子は、大下先生がヨーロッパの分析化学の査読誌 Analytica Chimica Acta (Elsevier Science Pub) で発表した4つの論文から収録されました。

「Dictionary of Analytical Reagents/1993年/ Chapman and Hall/CRC/United Kingdom」は、本学図書館も3階で所蔵しています。

西村勇樹さん(管材室)

「私の改善」で表彰されました

管材室 西村勇樹さんが「私の改善」において表彰されました。

「私の改善」は事務職員が日常業務の中で発明考案・業務改善に取り組み、その業績が顕著であると認められた提案が表彰されるものです。提案・表彰区分は以下の通りです。おめでとうございます。



理事長賞

西村勇樹さん(管材室)

図面資料および固定資産
台帳システム構築の改善



D

A

D

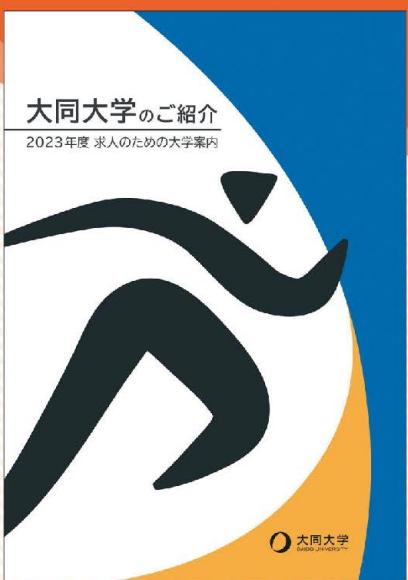
O

X4デザイン専攻リレー展示会 vol.11を開催しました

「X4デザイン専攻リレー展示」とは、本学の建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻、情報デザイン学科 メディアデザイン専攻/プロダクトデザイン専攻の4つの専攻からなるリレー展示です。卒業制作作品から選抜された学生作品や、リレー展示のために学生たちが4年間の集大成として取り組んだ作品が各所で展示されました。

学生デザイン作品集

学生たちが、キャリア支援室や入試・広報室で発行する冊子の表紙やチラシ、ポスターをデザイン。それぞれの受け取り手や発行する目的などをよく考え制作しました。



「2023年度 求人のための大学案内」の表紙
/長谷川太一さん



「資格講座案内2023」の表紙/斎藤ひかりさん



「なごや健康カレッジ」の案内パンフレット/
長谷川太一さん

2022年度 学位記授与式を挙行しました

告辭

学部卒業のみなさん、卒業おめでとうございます。大学院修士課程修了のみなさん、修了おめでとうございます。

卒業の喜びは、みなさんの努力の賜物であるだけでなく、御家族の皆様はじめ、周囲の方々のあたたかい支援があつてこそあり、ご出席はいただけませんでしたが、関係の皆様に、心からのお祝いを申し上げます。

新型コロナウィルス感染症は、ピークを繰り返し3年経ってもまだ収束を見ることができません。昨年末から今年にかけて多くの感染者が大学でも出ました。しかし、3月13日からは「マスクの着用」が個人判断となり、また、5月には2類から5類に変更されます。そのような状況の中で、学位記授与式においても「マスクの着用」は個人判断として行うこととしました。

大同大学はみなさん新卒業生を加えて、33,319名の卒業生を送り出したことになります。

卒業生は、中部を中心に全国各地で活躍しています。皆さんも「大同大学の卒業生」として、これから社会や大学院で活躍することを期待しております。

本学は、五十九年前、第2次世界大戦後の復興期に大同製鋼、中部電力、名鉄など中部産業界の要請を受け、機械工学科と電気工学科、二学科の大同工業大学として大同学園により設立されました。その後、建設工学科を加え、二十一年前には情報学部が設置され、さらに大同工業大学から大同大学へと校名を変えました。また、2024年度からは建築学部が設置され、大学は3学部となる予定です。しかし、「産業と社会の要請に応える人材の養成」という建学の精神は五十年以上に亘って受け継がれ、「実学主義」という大学の理念は変わりません。

大同大学は、大同学園の八十年を超える歴史に裏付けられた実学の大学であり、そこで学んだということを忘れないで下さい。

卒業は、終わりではなく新たな門出です。特に大学、大学院を卒業して社会に出て行くさんは、今までとは

違った社会の荒波への出発点となります。しかし、皆さんの最近の3年間はこれまでと違い、コロナ禍による遠隔授業を経験し、学生生活や就職活動も十分に行えず大変残念であったと思います。ただ、社会の大きな変革を身をもって体験したことは必ずしもマイナスではなく、これからの方々の人生の糧となる信じています。

さらに、学びは一生続きます。卒業すれば勉強は終わりではなく、大学で学び、蓄積した知識を実際に役立たせるために、何度も見直し、自分にとって実りのあるものにして下さい。分からなきがあれば、これからも、大同大学の先生がたに助言を求めて下さい。

近年、地球温暖化、ロシアによるウクライナへの侵攻など地球規模の課題がいくつも顕在化し、日本にも影響を与えています。特に、近年のコロナ禍で、大学では遠隔授業が、社会ではテレワーク勤務が一気に浸透しました。情報化社会の進展が予想を遥かに超えて進みました。AI、ロボット、IoTなどが飛躍的に進化したSociety 5.0と言われる超スマート社会が到来し、社会は劇的に変化しようとしています。しかし、人間は、AIと違い経験に裏付けられた「ひらめき」を發揮することができます。

17世紀のフランスの哲学者パスカルの有名な言葉に「人間は考える葦である」があります。

これは、人間の偉大さを表した言葉です。インターネット社会に翻弄されずに、人間の偉大さを忘れないで欲しいと思います。

さらに、これから予測できない状況がますます増加していくと思われます。そのような時に、冷静に判断を行い行動できる人間になって下さい。

みなさんの人生はこれからです。自分の満足できる人生を送って下さい。そして、ふと立ち止まり迷うとき、大同大学を思い出し、相談に来て下さい。大同大学は、いつまでも皆さんとともにあります。

健康に気をつけ、家族や友人を大切にし、充実した人生を送られることを心から願って告辞いたします。

二〇二三年三月十七日

大同大学長 神保 瞳子



2022年度 学位記授与式 学長賞表彰

学長賞(学業)

学科・専攻	氏名	指導教員
機械工学科	安部 厚輝	町屋 修太郎
	石田 英樹	前田 安郭
機械システム工学科	伊藤 恭平	橋口 宏衛
	高橋 明大	
電気電子工学科	高橋 主税	大澤 文明
	村瀬 葵	山田 靖
建築専攻	早川 あん莉	米澤 隆
インテリアデザイン専攻	中野 創大	宇野 亨
土木・環境専攻	丸井 聰士	鳴田 嘉昭
コンピューターサイエンス専攻	浅野 流成	芋野 美紗子
情報ネットワーク専攻	恩田 恭輔	柘植 覚
メディアデザイン専攻	嶋田 葉帆	桐山 岳寛
プロダクトデザイン専攻	松井 花恋	岡田 心

学長賞(課外活動)

所属	氏名	顧問等
男子ハーボール部	篠崎 賢大	山田 雄太
男子ハンドボール部	浜田 弘晟	佐藤 壮一郎

学長賞(研究活動)

学科・専攻	氏名	指導教員
建築専攻	布目 尚弘	中島 貴光
インテリアデザイン専攻	寺田 杏菜	
プロダクトデザイン専攻	川田 優斗	舟橋 廉祐
	遠山 千聖	

学長賞(大学院)

専攻	氏名	指導教員
機械工学専攻	高田 晃希	前田 安郭
	杉山 仁滉	尾形 和哉
電気・電子工学専攻	川端 翔也	川福 基裕
	北村 駿	山田 靖
建築学専攻	田中 丈	米澤 隆
都市環境デザイン専攻	坂谷 瑠哉	樋口 恵一
情報学専攻	塙見 健太	朝倉 宏一

学会賞(学部)

学会・賞名	氏名	指導教員
日本機械学会 畠山賞	大橋 力也	町屋 修太郎
	川瀬 善也	薦森 秀夫
	西脇 遼	尾形 和哉
日本設計工学会 武藤賞	羽田 晓裕	小里 泰章
	山田 韶也	萩野 将広

学会賞(大学院)

学会・賞名	氏名	指導教員
日本機械学会 三浦賞	滝 康佑	前田 安郭
	原 快斗	吉田 昌史
日本設計工学会 武藤賞	伊藤 嘉基	宮本 潤示
自動車技術会 大学院奨励賞	船橋 幹人	
	滝 康佑	
	高田 晃希	
日本铸造工学会 研究奨励賞	西原 大貴	
	船橋 幹人	前田 安郭

新任教員紹介

富永 慎一 教授 情報学部 情報デザイン学科



映像制作、WEB制作を担当します。前職はNHK/NHKエンターブレイズです。番組ディレクター・プロデューサーとして、教育番組、科学ドキュメント、アニメーション番組、オリンピックサイト等を手掛けてきました。教員経験はありませんが、制作経験を生かしながら一緒に学んでいければいいなと考えています。

宮寄 靖大 准教授 工学部 建築学科



建築学科土木・環境専攻に着任いたしました。橋梁をはじめとした土木構造物の強度特性の把握とそれにに基づく設計法の開発に取り組んできました。これまでの教育研究活動を活かしながら、社会に貢献できる人材育成と研究を行いたいと思います。

湯田 高志 教授 情報学部 情報デザイン学科



デザイナーは「センスが無いとダメ」と思っている人が多いと思いますがそこにはちゃんとルールと理がありまます。それを理解するだけでデザイナーとしての力量の80%は手に出来るのではないか?残りの10%の努力と10%の閃きで素晴らしいデザイナーになるチャンスが手に入ります。一緒にがんばりましょう!

田中 淑晴 准教授 工学部 機械システム工学科



よろしくお願い致します。よく学び、よく遊べ。一緒に成長していきましょう! 学んだことや体験したこと、資格や技術などは、糧になれば重荷にはなりません。学生時代は行動範囲も広がり多くの機会に恵まれます。ぜひ、色々なことに積極的にチャレンジしてみて下さい。

日高 直保 講師 教養部



本年度より教養部人文社会教室に着任しました。日高と申します。質的心理学/臨床心理学を主な専門として、研究や臨床活動を行っております。心理学に関する講義や演習、FYSを担当いたします。よろしくお願い申し上げます。

人事

理事・評議員人事

●就任(任期:2023.4.1~2023.8.29)

【理事】

渡邊 慎一 新任 学長・工学部 建築学科 教授
棚橋 秀行 新任 副学長・工学部 建築学科 教授
平光 範之 新任 日本製鉄株式会社 常務執行役員
※学外理事

【評議員】

朝倉 宏一 新任 副学長・情報学部 情報システム学科 教授
川福 基裕 新任 副学長・工学部 電気電子工学科 教授

●退任(2023.3.31)

【理事】

神保 瞳子 学長
横山 弥生 副学長・情報学部 情報デザイン学科 教授
相馬 秀次 日本製鉄株式会社 常務執行役員
※学外理事

【評議員】

渡邊 慎一 副学長・工学部 建築学科 教授
杉本 幸雄 情報学部 情報デザイン学科 教授

人事

●退任(2023.3.31)

神保 瞳子 (大同大学 学長)
横山 弥生 (大同大学 副学長)
渡邊 慎一 (大同大学 副学長)

●就任(任期:2023.4.1 ~ 2026.3.31)

渡邊 慎一 (大同大学 学長)
棚橋 秀行 (大同大学 副学長)
朝倉 宏一 (大同大学 副学長)
川福 基裕 (大同大学 副学長)

●退職

【法人本部・大学】

《教育職員》(2023.3.31)

坂倉 守昭 (工学部 機械システム工学科 教授)

浦井 一 (工学部 電気電子工学科 教授)
杉本 幸雄 (情報学部 情報デザイン学科 教授)
大東 憲二 (情報学部 総合情報学科 教授)
服部 文彦 (教養部 教授)
田中 清喜 (教養部 講師)
堀尾 吉巳 (工学部 電気電子工学科 特任教員)
高木 康夫 (工学部 電気電子工学科 特任教員)
久田 晴生 (教養部 特任教員)

《事務職員》(2023.3.31)

木村 雅美 (総務部 総務室)

《嘱託職員》(2023.3.31)

菅野 甲明 (工学部 建築学科)
林 祐太郎 (情報学部 情報デザイン学科)
石黒 伸二 (創造製作センター)

●採用

【法人本部・大学】

《教育職員》(2023.4.1)

富永 慎一 情報学部 情報デザイン学科 教授
湯田 高志 情報学部 情報デザイン学科 教授
田中 淑晴 工学部 機械システム工学科 准教授
宮寄 靖大 工学部 建築学科 准教授
中村 裕哲 情報学部 総合情報学科 准教授
日高 直保 教養部 講師

《教育職員》(任期:2023.4.1~2024.3.31)

徳納 一成 工学部 機械工学科 特任教員
坂倉 守昭 工学部 機械システム工学科 特任教員
堀内 将人 工学部 建築学科 特任教員
杉本 幸雄 情報学部 情報デザイン学科 特任教員
大東 憲二 情報学部 総合情報学科 特任教員
併任 工学部 建築学科 特任教員
服部 文彦 教養部 特任教員

《事務職員》(2023.4.1)

大見 尚子 総務部 人事室
倉橋 巧 総務部 管財室
河合 由一 大学事務部 教務室

《嘱託職員》(2023.4.1)

下谷 哲史 情報学部 情報デザイン学科

●昇任

【法人本部・大学】

《教育職員》(2023.4.1)

加納 善明 工学部 電気電子工学科 教授
萩野 将広 工学部 機械工学科 准教授
宮本 潤示 工学部 機械工学科 准教授
喜田 健司 情報学部 情報システム学科 准教授
山内 昇 教養部 准教授

《事務職員》(2023.4.1)

河村 安徳 大学事務部 入試・広報室長(次長待遇)
野島 大策 法人本部 経理室長(次長待遇)

●異動

【法人本部・大学】

《教育職員》(2023.4.1)

上野 康平 工学部 電気電子工学科 准教授
併任 教養部 准教授

《事務職員》(2023.4.1)

安藤 空 総務部 総務室
濱田 典子 大学事務部 学生室
北出 真 大学事務部 キャリア支援室

●称号授与

【大学】

《名誉教授》(2023.4.1)

坂倉 守昭 (元工学部 機械システム工学科 教授)
服部 文彦 (元教養部 教授)

「DAIDO CAMPUS」の表紙を情報デザイン学科4年生の 齋藤ひかりさんがデザインしました

「変化・未来」をテーマに表紙のデザインを制作しました。白い枠は写真であり、その中の空の色の移り変わりで変化を表現しています。それぞれが様々な過去を象徴していて、それらを重ねることで未来を表現しています。空はそれぞれ異なる時期や時間帯で、背景の紺色は現在の空を表しています。その空を見上げ、すべての写真が重なっている向こうに、

明るい未来を表す星が見えます。デザイン枠の最大幅から、背景の紺色部分を短くすることで、写真の影を活かしたデザインにしました。

抽象的なテーマからデザインを制作することは難しかったですが、私なりに形にすることことができたと思います。今回の経験を通して、自身の成長を感じられました。

